



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:80 平成20年12月15日

## …つばやきサロン…



—世知がら〜い現代を生き延びるために—

2004年の秋から市役所の外郭団体で、メディアコンテンツ系人材育成の仕事に携わっています。メディアとIT、それらが北九州市民の生活の術や道具として有効に使えるよう市民側から様々なアプローチの事業を行っている訳です。

ライフワークである映画（年間5つ以上の映画祭参加、映画を映画館で約300本鑑賞する）と全国の同業の方との交流、そして、市民の目線でメディアに関わってきたからでしょうか？この数年で私たちを取り巻く社会や暮らしの環境がもの凄お〜く変わってきているにもかかわらず、北九州市民は「現状認識と危機感に乏しい・他力本願で受け身」、のん気だなあ〜と感じることしばしば。私自身の自戒も含め、そう思います。

つい先日、市内企業に勤める同い年の男性が「役所はお上だ」と断言したのを聞いて、「江戸時代？小学生でも三権分立を知っているのに」と内心爆笑しましたが、後日、私の親も同じ考えという事がわかって、ガッカリしました。もはや「大きな流れに身を任せていれば…」なんて時代じゃなくなっているのに、教科書もニュースも解ってない…いやはや驚きです。

今後、私たちが世知がら〜い現代を生き延びる術として、情報を読み解く力＝メディアリテラシーがとても重要だと考えています。市民1人1人が、自分の目と耳で確かめること→固定観念をなるべく捨ててモノやコトを様々な角度から見て考えること→そのうえで「誰」or「何」と繋がることで自分の暮らしや街の豊かさを得られるか？

トライ&エラー（行動&失敗）を繰り返すこと。（失敗を恐れちゃあいけません。失敗こそ人生勉強の最高のチャンスだからです）この積み重ねこそ、私たち北九州市民の明るい将来を切り拓くことになる、と強く思っています。



ヒューマンメディア財団開発部メディア振興課 メディアプランナー  
吉武あゆみ

# 第85回・サポートセンターの日/2008・11・25



NPO法人北九州後見支援センター  
代表理事 今田 莊一さん(左)

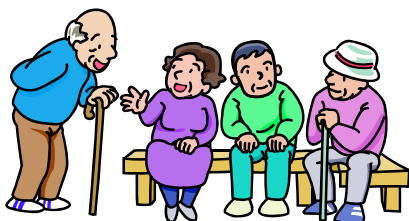
北九州後見支援センターは、平成17年5月に任意団体として発足しました。設立当初は成年後見制度等の研修会を中心に行っていましたが、個別に様々な相談を受けるようになり、定期的に相談会を行うようになりました。高齢化率の増加、また、それに比例するように、高齢者をねらった事件や詐欺等が深刻化していることから、関係機関などと連携を取りながらこれらの支援を行っていく必要性を感じ、平成18年3月にNPO法人の認証を受けました。

構成メンバーは、行政書士等の士業を中心とした計15名で、黄金まちNPOステーションという共同事務所に拠点を置き、活動しています。

主な活動としては、①相談・サポート活動として、遺言・成年後見制度に関する定期相談会の開催、遺言・相続などの書類作成、成年後見申し立て手続きなど②地域貢献活動として、高齢者や障害者の生活を支援するための福祉車両展示会の開催、商店街活性化のためのイベントの開催③普及活動として、成年後見制度・遺言制度等を分かりやすく伝えるオリジナル劇の上演、啓発セミナーの開催などです。設立当初は黄金まちNPOステーション内スペースでの活動が主でしたが、市民センター等から講座等の依頼を受けるようになり、徐々に活動範囲が広がってきました。

平成20年10月には中尾市民センターで、11月には枝光北市民センターの依頼により成年後見制度・遺言制度をテーマにした市民講座「知っていますか？」を開催しました。テレビ、新聞などで取り上げられ、寸劇やビデオ上映を通して制度の意義や手続きをわかりやすく学ぶことができたという好評でした。

これからも、まだ広く周知されていない成年後見制度・遺言制度の普及に努め、高齢者や障がい者の方々が安心して暮らせる社会の実現を目指して活動していきたいと思っております。



## NPO活動発表会 ～高齢社会を支える活動～



老いを支える北九州家族の会  
代表 高田 芳信さん

この活動は、私がアルツハイマー病の妻を18年間介護した中ではじまりました。当時通っていた施設で企画された下関火の山公園での家族交流会が活動の原点です。参加者同士が介護体験を語り合い、皆同じように大変な思いをしながらも頑張っている姿に、自分も頑張らなければと大変感銘を受け、心癒される1日となりました。一方でこのような交流会に参加したくてもできない人をどうやって励ましたらいいのだろうという思いにかられました。そこで、会報誌を作り介護の体験をお知らせしようと考え、平成5年9月に第1号を発行しました。

初めは印刷から配布まですべて施設にお任せでしたが、せめて紙代だけでも家族が負担しようとする意志で話し合い、平成6年5月に会費を集め、皆で作業を行うことになりました。月1回の会報発行作業が介護者同士の交流の場となり、会則を作り、世話人を選んで自主的な家族の会「サン・グリーンホームデイサービスの家族の会」として歩み出しました。以来15年間発行を続け、平成20年11月で182号になりました。現在700部を発行しています。

その後、近隣にデイサービスが増設され、そこに通う人からの要望もあり、平成8年3月に名称を「老いを支える北九州家族の会」に改めました。

会の目的は、家族の交流と福祉の向上です。交流の中で出された悩みや要求をその場限りの慰めとせず、介護負担が少しでも軽減するように社会や行政へ働きかけることが大事だと考えています。

また認知症の啓発の必要性を感じ、痴呆をテーマに劇団“炎”を設立し、市民センターで公演したり毎年9月21日の世界アルツハイマーデーには、駅前でチラシを配布、講演会なども実施しています。

3年前より市の委託事業として、「ささえあい相談会」を各区で実施し、今年度より月1回専門家を招いて認知症介護家族の交流会も実施しています。

事務局体制の強化など、課題もいろいろありますが、今一番大事にしたいと考えているのは、認知症ご本人の心を知ること、ご本人自らが思いを発信する機会を作ることです。これからも長いスタンスでコツコツと活動を続けていきたいと思っております。



# 情報のひろば

## イベント・ボランティア

### ◆平成20年度 北九州市社会福祉ボランティア大学校 市民講座 認知症入門講座 ～認知症にやさしい人～

認知症のサポート活動を行っている方々のお話に基づき、自分や家族、地域の問題として考えます。

○日時：2009年2月5日（木）・2月18日（水）  
18：30～20：30

○会場：ウェルとばた12階JK研修室

○参加費：700円

○定員：50名（申込多数の場合は抽選）

○申込方法：電話にて下記まで

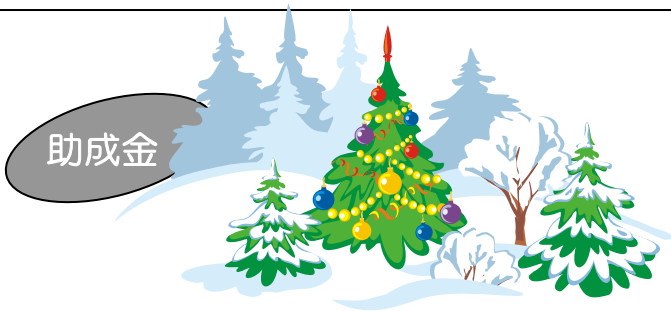
○申込・問合せ先：

北九州市社会福祉ボランティア大学校

TEL093-881-6321

FAX093-881-6306

<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/index.php?id=430>



### ★平成21年度離島人材育成基金助成事業

財団法人日本離島センターにおいて、北九州市の離島（馬島・藍島）に在住の方、または離島で活動しているグループ・団体等が実施する、産業振興や生活・文化・福祉向上に係る事業、離島住民と他地域との交流推進事業等に対する助成が行われます。

★事業実施期間：平成21年4月1日（水）～  
平成22年2月28日（日）

★助成額：助成金支給対象経費の3分の2以内で、限度額は100万円

★提出期限：平成21年1月30日（金）必着

★実施団体：財団法人 日本離島センター

★申請書等送付先

〒803-8510

北九州市小倉北区内1-1

北九州市総務市民局市民部地域振興課

コミュニティ活動支援係 担当：下山・中川

TEL093-582-2111

FAX093-562-1307

### ★平成21年度「地球環境基金」助成

民間団体による日本国内及び開発途上地域における環境の保全を図るための活動に対する助成。

★助成内容：（1）一般助成：先駆性や波及効果の高い活動に対する助成

（2）発展助成：これまで地球環境基金から助成を受けたことがない団体を対象とした助成

★助成金額：（1）下限100万円（2）下限50万円

★締切：2009年1月26日（月）必着

★独立行政法人環境再生保全機構

地球環境基金部 地球環境基金課

〒212-8554

神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージアム川崎セントラルタワー8階

TEL044-520-9505

FAX044-520-2190

<http://www.erca.go.jp/jfge/index.html>

### ★平成21年度「SSFスポーツエイド助成事業」

年齢層を問わず、スポーツに親しみ人を増やす事業に対して資金が援助されます。

★助成額：事業内容により異なります

★締切：2009年1月31日（土）当日消印有効

★財団法人笹川スポーツ財団業務部

スポーツエイドチーム

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-15-16

TEL03-3580-5854

<http://www.ssf.or.jp/>

Email aid@ssf.or.jp

### ★「セブン・イレブンみどりの基金」

セブン・イレブン店頭での募金箱に寄せられた市民（＝お客様）からの募金などをもとに、環境市民団体への支援活動や自然環境保護・保全活動、地域環境美化活動などを行っています。

- ①環境市民活動助成…
1. 活動助成
  2. NPO法人格取得助成
  3. モデル事業助成
  4. 自立事業助成

- ②地域美化活動助成…
1. 緑化植花活動助成
  2. 地域清掃活動助成

※助成の種類によって、助成内容や対象団体などが異なりますので、ホームページをご確認ください。

★締切：2009年1月31日（土）当日消印有効

★セブン・イレブンみどりの基金 助成担当

〒102-8455

東京都千代田区二番町8-8

TEL03-6238-3872

（電話受付時間9：30～17：00※土日を除く）

FAX03-3261-2513

<http://www.7midori.org>

# NPO法人の申請・認証状況

## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年11月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	256	235	—

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年10月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	34,201	32,981	397
【福岡県】	1,237	1,200	1
内閣府	3,101	2,877	118
全国計	37,302	35,858	515

## 2008年11月に認証された特定非営利活動法人

- 特定非営利活動法人北九州スポーツクラブACE (11月7日認証)
- 特定非営利活動法人ねぎぼうずの里 (11月14日認証)
- 特定非営利活動法人夢追いバンク (11月14日認証)
- NPO法人ROSE-BUD (11月28日認証)

## 「ボランティアのつどい」に参加しました！

日時：11月16日(日) 於：ウェルとぼた

市民活動サポートセンターは下記の7団体にご参加頂き、パネル・チラシ等による活動紹介コーナーに出展しました。ご協力ありがとうございました。

- ・北九州ESD協議会
- ・特定非営利活動法人女性ヘルプネットワーク
- ・Totoroの会
- ・点訳すみれ会
- ・特定非営利活動法人ふれあい福祉北九州
- ・NPO法人スキルアップサービス
- ・ボランティアグループ「渚」

ありがとう  
ございました！



### 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4  
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。  
※要予約
- ◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》  
日曜日・祝日《10:00～17:00》  
【休館日】12月26日(金)  
【年末・年始の休み】12月29日(月)～1月3日(土)

### 編集後記

先日、点訳すみれ会さんの活動に参加しました。

四年生の授業で学ぶ点字を教えるに小学校を訪問しました。点字版を利用し、点字を打ちます。最初は一つの字を打つのに時間がかかりましたが、子ども達はあっという間に上達し、90分の授業で自分の名刺を点字で作成することができました。

中には目をつぶって点字を読もうとする子どももいました。「わからん！難しい。大変やね・・・」と一言。点字を作成するのも大変ですが、読む事はもっと大変だと実感した一日でした。 By. ち～☆